

# 事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○	○	○	○

事務事業No 事業名  
**642 学力向上支援事業（少人数指導、チームティーチングなど）**

[事業基本情報]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	1	学校教育の充実
施策	3	小・中学校教育の充実
取組	2	確かな学力の定着と向上を目指す教育の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		教育総務費	
	目		教育振興費	
	大事業		教育振興事業	
事項		学力向上支援事業		

事業種別	継続	主な事務事業	○	
事業期間		～		永年
事業実施の根拠法令				
関連個別計画				
担当課・担当課長 (Tel)	学校教育課	林 素秀 (435-1399)		
関連課				

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
○			

### 1 事業概要及び実施内容

	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
事業概要	児童生徒の学力向上のために、地域で行われている学習会に講師（巡回指導員）を派遣して、学校と連携をとりながら学習指導を行う。客員指導主事制度を設置し、和歌山市の教育についての提言を受ける。	11地区において、小・中学生を対象に実施する。小学生は算数・国語を中心に学習方法や基礎知識の習得を、中学生は英語・数学を中心に基礎学力の向上を目指す。客員指導主事は、学力向上に係る方策の検討や課題解決への提言、講演、訪問指導を行う。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		小・中学生を対象に、算数、英語等を中心に基礎学力向上のための学習支援を行う。 学力向上に係る方策の検討や課題解決への提言、講演、訪問指導等を行った。	小・中学生を対象に、算数、英語等を中心に基礎学力向上のための学習支援を行う。 学力向上に係る方策の検討や課題解決への提言、講演、訪問指導等を行った。	小・中学生を対象に、算数、英語等を中心に基礎学力向上のための学習支援を行う。 学力向上に係る方策の検討や課題解決への提言、講演、訪問指導等を行った。	小・中学生を対象に、算数、英語等を中心に基礎学力向上のための学習支援を行う。 学力向上に係る方策の検討や課題解決への提言、講演、訪問指導等を行った。	小・中学生を対象に、算数、英語等を中心に基礎学力向上のための学習支援を行う。 学力向上に係る方策の検討や課題解決への提言、講演、訪問指導等を行った。

### 2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	12,140	11,665	12,097	11,779	11,864	11,779	11,864	11,782	10,705	
伸び率 (%)	-	-	-0.4%		-1.9%		0.0%		-9.8%	
人件費	常勤職員	1,110	2,071	2,218	2,182	2,038	2,048	2,048	2,022	2,022
	非常勤職員									
	小計	1,110	2,071	2,218	2,182	2,038	2,048	2,048	2,022	2,022
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	12,140	11,665	12,097	11,779	11,864	11,779	11,864	11,782	10,705	
所要人数	常勤職員	0.14	0.27	0.29	0.29	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27
	非常勤職員									
主な予算内訳	報償金 10,627千円									

### 3 目標及び実績

	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	年度目標値	実績値	全体目標達成度	年度別達成度						
活動指標	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度						
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度						
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度						
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度						
成果指標	学習会参加者数	年度目標値	実績値	全体目標達成度	年度別達成度	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	単位	人	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	11,436	12,804	10,200	10,148	
	単位	人	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	114.4%	128.0%	102.0%	101.5%	
	単位	人	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	巡回指導員の指導力向上に向けて研究機会を充実させる。客員指導主事制度の周知と手続きの簡略化を進め、活用の機会を増やす。
「見直し」 「改善」案  ※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載	